

今回調べたところ

中部電力 浜岡原子力発電所

浜岡原子力発電所は、静岡県御前崎市にある中部電力唯一の原子力発電所です。従来から常に最新の知見を反映し、安全性向上に努めてきました。東京電力福島第一原子力発電所の事故以降も、津波対策や重大事故対策など、安全対策を積み重ねています。「福島第一のような事故を起こさない」という固い決意のもと、安全性の追求に全力で取り組んでいます。



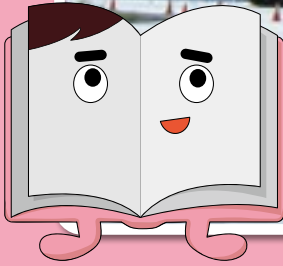
DENPEDIA
Vol.11

でんペディア

電気やエネルギーにまつわるみんなの疑問を徹底的に探っちゃう電気の大百科。それが『でんペディア』。みんな聞いたことはあるけど、よく知らない話や、意外なことをご紹介します。

原子力発電所には すごい車があるって本当？

浜岡原子力発電所には、もしものときにも発電所を守るように特殊な車両が配備されています！



でんペディアくん

発電所に詳しく、すぐに対応策を判断・実行できるスペシャリストチームが日々訓練を行っているよ！

浜岡原子力発電所では、地震、津波対策といった設備対策などを強化するこ
とはもちろん、それらを扱うのは「人」であるという考えのもと、エルフの設置や、特殊車両の整備など現場対応力の強化にも全力で取り組んでいます。



※緊急時即応班 (ERF:Emergency Response Force)

浜岡原子力発電所では緊急時においても真っ先に現場に駆けつけ、初動対応を行うスペシャリストチーム緊急時即応班※(ERF/エルフ)を、2014年に電力会社として全国で初めて設置しました。緊急時には班員が発電所の中に配備された特殊車両を操作して初動対応にあたります。

班員は、さまざまな種類の免許を取得しています。重機によってガレキを撤去し、道路を通行できるようにしたり、電源車を使用して電気を送ったり重要な任務にあたります。また、エルフ以外の従業員も特殊車両を扱えるよう順次資格の取得を進めています。

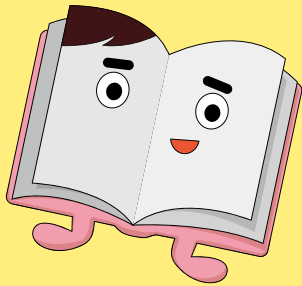
浜岡原子力発電所では、地震、津波対策

Q

この車は誰が運転するの？

発電所の西側と東側それぞれに特殊車両を配備することで、もしものときにも、いずれかの車両が使えるよう備えています。

発電所には70台以上の特殊車両が配備されています！



原子力発電は、運転を「止めた」あとも、燃料から熱が発生し続けま
す。そのため、燃料を「冷やし」続
け、放射性物質を「閉じ込める」こ
とが重要です。
例えば、燃料を「冷やし」続ける
ためには、次の3つが重要です。
◎ 電源の確保
◎ 注水（水を送る）
◎ 除熱（熱を取り除く）
これらの役割を担う特殊車両は
もちろん、ガレキの撤去や燃料補給
を担う車両も配備されています。

どんな役割の車が活躍してるの？

特殊車両の一部を紹介！



① 直流電源車



② 交流電源車

電源の確保



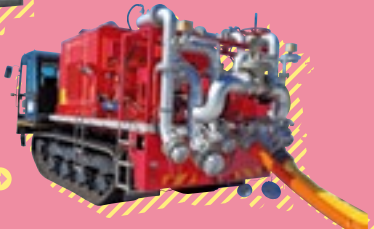
① ホース車(クローラ型)

注水
(水を送る)



② 取水ポンプ車(車両型)

注水ポンプ車(クローラ型) ②



① 取水ポンプ車(クローラ型)



① ポンプ車

除熱
(熱を取り除く)



① 熱交換器車



① 油圧ショベル

ガレキ
撤去



タンクローリー ②

燃料の
補給



② ブルドーザー